

2020年7月2日

2019年度 社会福祉法人 井の頭会事業報告

国の社会福祉制度改革に伴い人員確保のための施策として処遇改善策が出されたが両施設とも保育者の人員確保にはかなりの苦勞が伴い、年間通して人員不足が改善されたとは言い難い困難を抱えてきた。また短時間職員も雇用の安定に苦勞した年であった。今後とも計画性と先見性をもって、職員採用に生かしていかなければと考察する年であった。運用面で改善できたことは、宿舍借り上げ等職員が利用できることは最大限活用し、多くの職員が利用できました。ただし補助期間が決まっているため今後も国や自治体への運動を強めていく課題が残ります。

I コロナウイルス感染蔓延による環境変化で、世田谷では休園をしたり三鷹では自粛保育体制を行ったり、卒園式も短時間で行う等様々な行事や保育にも支障をきたすことが続いております。今後とも影響が大きいと思いますが、知恵を出し合って工夫しながら子供たちが主役となる保育を両園とも実施できるようにしたいものです。

II 両施設とも正規・パート保育者の人員確保に両施設長が奔走するが、根本の定数改善や真の処遇改善を国が行うことが今こそ急務であり、今後とも他団体とも力を合わせ国や自治体に働きかけていくことが必要と思われる。

III 井の頭保育園では施設の安全に関しセキュリティー工事が終わり、また防犯計画に侵入者対策にも力を入れる事となった。松原保育園は園舎改築に向け職員で改築委員会を立ち上げ着々と進めて、何度か世田谷区と話し合いを持ってきた。今後も定期的に話し合いを持ちながら改築に向けて行動出来るようにしていきたい。設立10周年行事を計画してきたが、コロナウイルスのため延期せざるを得ないが今後続けていけるようにしていきたい。

IV 井の頭保育園の70周年記念行事もコロナウイルスの影響で実施できなくなったが、「あの日オルガン」の映画上映を楽しみにしていた方々もおられるので、今後是非とも時期を検討して実施されたい。

V 今まで行ってきた常任理事会の役割を見直し、両施設のことがよりつかめるように発展的に法人事務局会議を持ってきたことで常任理事の方々も両園の様子が把握できたのではないかと思う、今後の会議内容のポイントを絞りながら話し合っていきたい。施設報告は理事会前に方向性が必要なものに絞っていくことが望まれる。他の施設報告は理

事会で行う等々選んでおくなど工夫していくことが必要と思われる。

VI 法人の内容を伝えていく機関紙にすべく提案し、今まで井の頭保育園で年 2 回発行していた「井の保通信」を発展的に法人の機関紙に変えて両施設の様子を職員と保護者、関係者に配布できるようにしていきたいが、両施設長の意向も聞いてから今後検討していく。

VII 幹部職員、指導部職員養成を行う計画を立案していく

今まで見学のみであったが、指導部職員ができる限り、長期に両園の中で研修をして学びあうことができるように計画を立案して実施して行く。